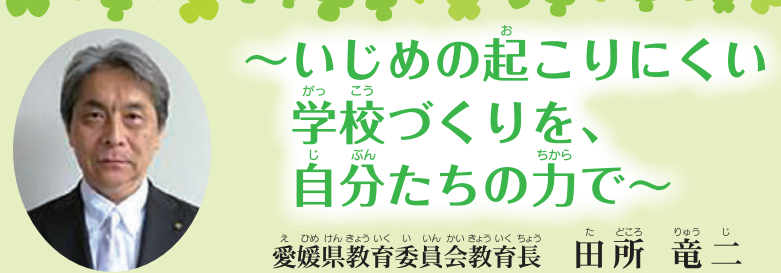


えひめの子どもたちへメッセージ



～いじめの起こりにくい学校づくりを、自分たちの力で～

2年に及ぶコロナ禍では、制限や我慢の多い生活が続いています。ただ、いつもと違うからこそできたことや、感じることであった良さもあったと思います。つい当たり前に感じてしまう友達との関わりについて、見つめ直した人もいないのではないでしょうか。

愛媛県では、平成25年度から小中学生による子ども会議を開催し、その後、高校生や保護者、地域の方々と一緒にいじめ問題の解決に向けた取組を続けてきました。これまでに参加した多くの皆さんが、学校や地域で行動し、いじめをなくすリーダーとして成長していることは心強い限りです。

今年度は、もっと多くの児童生徒の皆さんの参加を可能にし、「オールえひめ」によるいじめの未然防止をさらに推進することを旨として、県内すべての小中学校をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!デイ」を実現することができました。

ライブ授業では、「いじめを止めたら自分がいじめられるんじゃないか」「親に心配をかけたくない」「おごりにしてほしくない」など、皆さんの複雑な思いと同時に、「自分たちで解決したい」「自分の言葉に責任をもちたい」「人を大切にしたい」など解決に向かう力強い言葉が聞かれました。県内各地の約24,000人の児童生徒の皆さんが、いじめを防ぐために真剣に考え、議論し、主体的に行動しようとしている姿を見せ、皆さんのもつ力と可能性に強く心を動かされました。

いじめを一番近くでみている皆さんが、「いじめをなくす」という思いを共有して、強くつながってほしい。そして、かけがえない仲間を守るために自ら立ち上がり、いじめの起こりにくい学校づくりに取り組んでいくと信じています。

保護者や地域の皆様、子どもたちは、いじめをなくそうと懸命にがんばっています。私たち大人にできることは、自分を尊重する生き方を通して、子どもたちに良き手本を示すことではないでしょうか。これからも、子どもたちの見守りと温かい支援をよろしくお願いいたします。

最後に、「えひめいじめSTOP!デイ」の開催にあたり、ご理解とお力添えをいただいた全ての皆様に、心から感謝申し上げます。

動画紹介 いじめについて考えてみてね

人権ミュージカル
・クッキー協奏曲 (コンチェルト) ・Dreams are infinite ～夢は無限～

新型コロナウイルスに負けない絆
動画メッセージ

愛媛県教育委員会人権教育課 **検索**

愛媛県教育委員会 人権教育課 2022年(令和4年) 2月発行

えひめ愛顔の子ども新聞

みんなで考えて、一緒に行動する

県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP!デイ開催

令和3年11月18日(木)、松山市民会館をメイン会場に、県内すべての市町をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!デイ」が開催され、小学校6年生と中学校1年生を中心に約24,000人が参加して、いじめ問題について考えました。

当日のライブ授業の意見は、参加者からのアンケート結果をまとめた。いじめを見付けたとき、一人なら大人(先生・親)に言うという人が多い一方で、友達と一緒にいじめている人にも注意したり、声を掛けたりするなど、自分たちで行動できる人が増えることが分かりました。また、大人には相談のったり、いじめている人に注意したりしてほしいものの、あまりおごりにはしてほしくないと思っている人もいます。大人の考えも聞きながら、みんなが一緒になっていじめ問題を解決していくことが大切ですね。

Q1.「いじめられている人を見付けたとき、一人できること」

ライブ授業で出た意見

- 注意することで自分と同じようにいじめられるかもしれないから不安
- いじめられている人に寄り添ってあげる
- 一人で解決しないで、大人に相談する

アドバイス

- 一人だけ止める、注意する勇気がない自分をダメだと思わなくていいんだよ
- できることからスタートすればいいと思うよ

WEBアンケート結果

1. いじめられている人に注意する 3,422名
2. いじめられている人に声を掛ける 6,286名
3. 大人(先生・親)に言う 6,725名
4. 何もしない 638名
5. その他(自由記入) 843名

ここに注目!!

2 37% 3 35% 4 19%

参加者の声

- 高方のお話を聞く
- 仲間を集める
- 絶対に見て見ぬふりはしない
- いじめ相談ダイヤルに電話する
- 怖くてもできない

Q2.「いじめられている人を見付けたとき、二人以上できること」

ライブ授業で出た意見

- 仲間がいると、注意などもしやすい
- 一人が声を掛け、もう一人が大人に言う
- いじめている人にもいじめられる人の接する機会を少なくする
- 注意をそむける。新しい話題にもっていく
- 複数で行動して、「逆いじめ」にならないようにする

アドバイス

- 仲間で行動すれば、教室が変わってくる。その雰囲気、いじめている子が「はっ」と気付けば、いじめはSTOPしやすいと思うよ

WEBアンケート結果

1. いじめられている人に注意する 8,232名
2. いじめられている人に声を掛ける 5,062名
3. 大人(先生・親)に言う 3,444名
4. 何もしない 274名
5. その他(自由記入) 902名

ここに注目!!

1 49% 2 28% 3 19%

参加者の声

- 一緒に解決策を考える
- それぞれから話を聞く
- いじめられている子をグループに入れる
- 手分けして、様々な人に事実を知ってもらう
- 話題を楽しい内容に変える
- いじめている人の親に言う

Q3.「大人(先生・親)にしてほしいこと」

ライブ授業で出た意見

- いじめが起こらない環境をつくってほしい
- 相談できる環境をつくってほしい
- 大人は子どもにも考えさせるけど、大人の意見も聞かしてほしい
- 相談できない... 心配かけたくない

アドバイス

- 親・先生・子どもと一緒にいじめが起きる環境があればいいね
- 思っていることを言葉にして声に出すのは大事だよ

WEBアンケート結果

1. 相手も注意してほしい 4,628名
2. 相談のってほしい 6,324名
3. おおごりにしないでほしい 4,639名
4. 見守ってほしい 1,550名
5. その他(自由記入) 773名

ここに注目!!

1 26% 2 35% 3 26%

参加者の声

- 解決しないのに無理に仲間をさせないで
- 聞いてほしいけど、質問攻めにしてほしくない
- 生徒の表情や行動をよく見て気付いてほしい
- 先生がフリーな相談できる時間を
- 秘密を守ってほしい
- 最初は自分たちにさせてほしい
- 先生がフリーな相談できる時間を
- いじめを受けたときに、みんなに助けをもらったから、今度は私が助かいたい
- みんながいじめを止めようとしてくれるから自分もがんばりたい
- 親に学校のことを話そうと思った
- 大人に相談しやすくなった
- これからはひとりでも抱え込まないようにしようと思った
- いじめが起らない学校をつくりたい
- いじめを受けたときに、みんなに助けをもらったから、今度は私が助かいたい

Q4.「どんな人になら、いじめを相談できる?」

ライブ授業で出た意見

- 家族や先生、やさしくて明るくて頼れる人
- 誰をつかない人、やさしく接してくれる人
- 教育カウンセラーや相談センターの相談員
- 広まってしまから先生には相談しにくい
- 親には心配をかけたくなから相談しにくい

アドバイス

- 心配かけたくないという気持ちも分かるけれど、親や先生たちは一緒に考えたいんだよ

WEBアンケート結果

1. 最後まで助けてくれる人 5,733名
2. 秘密を守ってくれる人 4,224名
3. 優しい人 1,926名
4. いっしょに考えてくれる人 4,400名
5. その他(自由記入) 1,631名

ここに注目!!

1 32% 2 24% 3 24%

参加者の声

- 信用できる人
- 立場が同じ人
- 自分を知らない人
- 一緒に行動できる人
- 黙って隣にいてくれる人
- 自分の意見をはっきり言ってくれる人
- 親以外の家族
- 誰にも相談しない

Q5.「自分たちががんばりたいこと」

ライブ授業をとおして、みんなが考えた意見です。

まずは自分たちで解決の努力をする。大人には見守ってほしい

相談してもらえる、信頼される人になりたい

相談しやすいクラスをつくる

一つ一つの言葉、一つの行動に責任をもつ

一人になっている友達がいれば声を掛ける

いじめられている人にもいじめられている人にも寄りそう

参加者の声

- みんながいじめを止めようとしてくれるから自分もがんばりたい
- 親に学校のことを話そうと思った
- 大人に相談しやすくなった
- これからはひとりでも抱え込まないようにしようと思った
- いじめが起らない学校をつくりたい
- いじめを受けたときに、みんなに助けをもらったから、今度は私が助かいたい

参加された保護者から

- 日頃からコミュニケーションを取るよう気をつけているつもりでしたが、子どもたちの話を聞き、改めてその大切さを感じました
- 親の意見だけでなく、子どもの思いをしっかりと受け止め、信じてこそ、子どもの味方であること、安心できる存在であることが大切だと感じました
- 子どもとの距離感、何でも話せる、気持ちを打ち明けられる存在になりたいと感じました
- いじめをなくせるように一緒に考えていきたいです
- 子どもたちなりに考え、話し合い、伝え合うことができて感心しました
- 子どもがいじめについてまっすぐに向き合ってくれたり考えたりしたこと自体が、いじめの意識を変える機会だと感じました
- 自分の思いや意見をしっかりと述べ、周りの意見を聴ける子たちになってほしいです

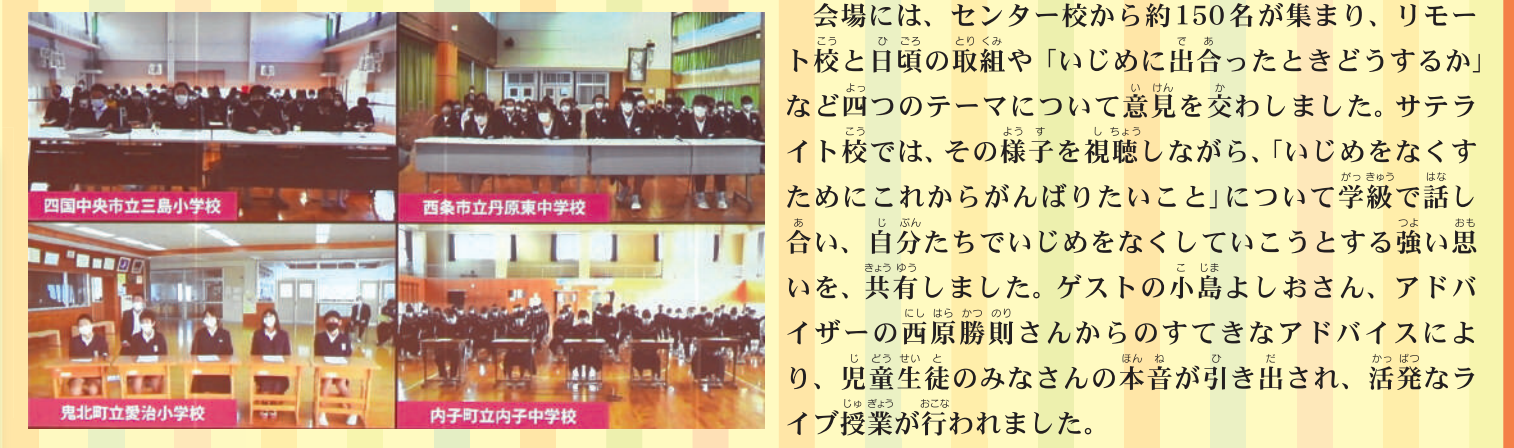
小中学生2万4千人が参加

【センター校】松山市立河野小学校、松山市立北条北中学校

【リモート校】四国中央市立三島小学校、鬼北町立愛治小学校、西条市立丹原東中学校、内子町立内子中学校

【サテライト校】ライブ授業に参加した学校のみならず

会場には、センター校から約150名が集まり、リモート校と日頃の取組や「いじめに出合ったときどうするか」など四つのテーマについて意見を交わしました。サテライト校では、その様子を見ながら、「いじめをなくすためにこれからがんばりたいこと」について学級で話し合い、自分たちでいじめをなくしていこうとする強い思いを、共有しました。ゲストの小島よしおさん、アドバイザーの西原勝則さんからのすてきなアドバイスにより、児童生徒のみさんの本音が引き出され、活発なライブ授業が行われました。



スペシャルゲスト 小島よしおさん登場!!

「そんな関係ねえ!はい!オッパッピー」でおなじみのお笑い芸人、小島よしおさんがスペシャルゲストとして登場しました。会場では、子どもたちの発表に対して自身の経験などを踏まえたコメントがありました。「ぼくも仕事でぶつかったときとか、先輩が隣にいてくれるだけで安心感がある...一人だと心細いんですよね...」と笑い話を交えながら、いじめられているときに誰かがそばで寄り添ってくれることが大きな安心感につながることを話しました。そして、「友だちのSOSに気付く力、実際に行動する力は、本当にとてもとても大事な力です。今日の授業をきっかけにこの力をどんどん伸ばして、この愛媛から日本へ、日本から世界へ、ハッピーな社会にしてほしい。オール ハッピー オッパッピー」と、小島さんならではの言葉で締めくくりました。

来年度は東予から発信します

令和4年度は東予の小中学校代表をセンター校に東予から一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!デイ」を発信します。来年度いじめ問題の解決に向けてみんなで考えていきましょう!

人権ポスター展 特選作品

令和3年度 人権尊重の意識を高めるためのポスター展

令和3年度は、46,469点の作品が寄せられ、審査の結果、5点が特選作品として選ばれました。

令和4年度もポスターを募集します。みんなが笑顔で暮らせる社会にするために、あなたが日常生活で大切にしていることや、学校で学んだ「人権」について、ポスターをとおして伝えてみませんか。

令和3年度 特選作品

- 小学校低学年 西予市立河野小学校 1年 橋本 陽向さん
- 小学校高学年 今治市立今治小学校 6年 中田 伶さん
- 中学校 正しく知る 差別をなくす第一歩 松野町立松野中学校 3年 岡本 雅久さん
- 高等学校 いっしょじゃないとダメですか? みんなとちがっちゃダメですか? 愛媛県立丹原高等学校 1年 伊藤 恋さん

悩みごと、気軽に相談してみませんか?

皆さんの不安や悩みごと(友達関係、学業・進路、いじめ、心や体の健康、家庭生活など)の相談を受け付ける、相談窓口を設置しています。秘密は固く守られ、匿名で相談できます。気軽に相談してみてください。

無料 「いじめ相談ダイヤル24」 (24時間365日受付) フリーダイヤル なやみお 0120-0-78310

「SNS相談 ほっとえひめ」 LINE相談/中高生専用 毎週火曜/木曜 18:30~21:30

愛媛大学 教育学部の皆さんから

今年度も愛媛大学の学生が取材活動に取り組みました

愛顔のえひめすごろく URL: https://educationalinclinica.wixsite.com/my-site-1

「いじめ相談ダイヤル24」 0120-0-78310

愛媛大学 教育学部の皆さんから

今年度も愛媛大学の学生が取材活動に取り組みました

愛顔のえひめすごろく URL: https://educationalinclinica.wixsite.com/my-site-1

「いじめ相談ダイヤル24」 0120-0-78310

愛顔のえひめすごろく

「いじめ相談ダイヤル24」 0120-0-78310

「SNS相談 ほっとえひめ」 LINE相談/中高生専用 毎週火曜/木曜 18:30~21:30